

2015 年度聖書の集い（第 9 回）

2016 年 3 月 2 日

桃山基督教会 古本 靖久

<http://momoyama.hannnari.com/>

- 1、聖歌 522 番 「かみともにいまして」
- 2、お祈り
- 3、聖書 「マタイによる福音書 28 章 16 節～20 節」（新約聖書 60 ページ）
- 4、今日の内容

神さまってどんな方？「⑨ わたしたちと共にいてくださる方」

今年度最後の聖書の集いです。この一年間、ありがとうございました。ゆり組の保護者の方は、もしかしたらこの礼拝堂で話を聞く機会も最後になるかもしれません。しかし今日は、たとえ卒園されたとしても、神さまはいつも一緒にいてくださるといってお話をします。

① かみともにいまして

今日歌った「かみともにいまして」は、桃山幼稚園の卒園式でも歌います。「また会う日まで」と繰り返すのですが、その日まで、神さまと一緒にいて守ってくださるようにと、お願いするのです。

神さまは親鳥が羽根を広げて雛を守るように、わたしたちや子どもたちを包み込んでくださいます。そのお守りをわたしたちは感じていきたいと思います。

② わたしたちをつかまえて離さない

でも時には、神さまの元から離れ、逃げてしまいたいときもあるでしょう。わたしもありました。18 歳から 35 歳までの間、「神さまなんかいない！」とせっかく握っていたはずの神さまの手を離し、自分の力だけで生きていこうとしていました。

しかしとても苦しい時期、どうしようもなく祈ったときに、そばに神さまがいてくださることを感じました。

わたしはこう思います。神さまはわたしの手首を握って離さなかったのだと。いくらわたしが手を離しても、神さまはぎゅっと握った手を決して離さず、いつかわたしが手を握る日をずっと待っていてくれたのだらうと。

わたしたち一人一人の元には、神さまのみ手が伸ばされています。神さまはあなたを守ってくださいます。大切な子どもたちを包んでくださいます。人生には様々なことが起こります。子どもたちも、たくさんの試練を経験しながら生きていくでしょう。みなさんだって同じです。でもそのような時こそ、神さまの手を探して、握りしめてください。

③ 神さまはずっとそばにいてくれます

わたしが好きな詩を紹介したいと思います。パワーズの、「あしあと」という詩です。

ある夜、わたしは夢を見た。
わたしは、神さまとともに、なぎさを歩いていた。

暗い夜空に、これまでのわたしの人生が映し出された。
どの光景にも、砂の上にふたりのあしあとが残されていた。
ひとつはわたしのあしあと、もう一つは神さまのあしあとだった。

これまでの人生の最後の光景が映し出されたとき、
わたしは、砂の上のあしあとに目を留めた。
そこには一つのあしあとしかなかった。
わたしの人生でいちばんつらく、悲しい時だった。

このことがいつもわたしの心を乱していたので、
わたしはその悩みについて神さまにお尋ねした。
「神さま、わたしがあなたに従うと決心したとき、
あなたは、すべての道において、わたしとともに歩み、
わたしと語り合ってくださいと約束されました。
それなのに、わたしの人生のいちばんつらい時、
ひとりのあしあとしかなかったのです。
いちばんあなたを必要としたときに、
あなたが、なぜ、わたしを捨てられたのか、
わたしにはわかりません。」



神さまは、ささやかれた。
「わたしの大切な子よ。
わたしは、あなたを愛している。あなたを決して捨てたりはしない。
ましてや、苦しみや試みの時に。
あしあとがひとつだったとき、
わたしはあなたを背負って歩いていた。」

神さまはいつでも、わたしたちを、そして子どもたちを決して離さず、守ってくださいます。これから先、辛いこと、悲しいことがあったとしても、いつでも「神さまは共にいる」ことを、思い出してください。いつでも教会に来て下さいね。